

第6回 のむら復興まちづくりデザインワークショップを開催しました！

■第6回ワークショップの開催

西予市復興まちづくり計画に基づき、野村地域の復興まちづくりについて、市民の皆様と話し合いを深めながら検討を進める場として、「第6回 のむら復興まちづくりデザインワークショップ」を開催しました。

愛媛大学 社会共創学部 松村 暢彦教授の進行のもと、愛媛大学や東京大学の学生の皆様の協力を得て、参加者の皆様から様々なご意見をいただきました。

「のむら復興まちづくりデザインワークショップ」は、今回が最終回となることから、今までのワークショップで参加者からいただいた意見・提案などをとりまとめた『のむら復興まちづくり計画（骨子案）』をもとに、新たな魅力あるのむらの実現に向けた意見交換を行いました。

【第6回 のむら復興まちづくりデザインワークショップの開催概要】

日 時：2019年10月24日(木) 19:00～

会 場：西予市野城総合福祉協会「野城ふれあい館」

主 催：西予市

協 力：愛媛大学、東京大学復興デザイン研究体

参加者：21名（野村地区自治会、社会教育団体などの公的団体代表者、西予市内在住者など）

進行補助：愛媛大学、東京大学の学生

主な内容：

○第5回野村復興まちづくりデザインワークショップの振り返り

○のむら復興まちづくり計画の説明

○グループワーク

テーマ：のむら復興まちづくり計画の追加・修正事項の確認

✓ 第1回から第5回のワークショップでみなさまからいただいた意見をもとに作成した「のむら復興まちづくり計画（骨子案）」が提示され、計画に追加・修正すべき事項などに関する意見交換をしました。

○各グループでの意見交換の結果の確認

✓ 計画（骨子案）の資料に基づき、ページごとにグループの中で話し合った結果を全体で確認しました。

○東京大学復興デザインスタジオの提案の紹介

○出席者全員での記念撮影

計画（骨子案）の施策及びワークショップでの意見は裏面をご確認ください。



主旨説明



グループワーク



各グループの意見の確認



記念撮影

■今後の取組みについて

『のむら復興まちづくり計画（骨子案）』の提案を受け、西予市では実現に向けた行動計画（アクションプラン）の作成を進めます。さらに、学識者などからのアドバイスを踏まえながら、最終的な『のむら復興まちづくり計画』及び行動計画を、年度内に公表する予定です。

また、各種施策の具現化にあたり、引き続き住民の皆様と共に考える場づくり（例えば、河川沿いの空間整備に関するワークショップなど）を行いたい旨が提案され、参加者の了承が得られました。

市民の皆様におきましても、引き続き、のむら復興まちづくりの推進に向け、ご理解とご協力をお願いいたします。

